



学期	児童生徒の現状・課題	原因・要因	重点的に行う取組	検証の方法と指標・結果、結果と検証		結果の検証		
				児童生徒の状況	教師の指導・取組の状況			
授業で行う取組 一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業では、教師の手立てに素直に反応し、意欲的に取り組む児童の姿を認めることができる。また、書くことを嫌がらず、ノートにまとめを書くことができる。</li> <li>全国学力調査や県評価問題の結果から見えてきている本校児童の弱点は、条件に応じた的確にまとめることにある。また、簡単な言葉で思いを表現することも多く、豊かな表現で話したり書いたりする力を伸ばす必要もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校研究の重点として、意欲を喚起する導入の工夫に取り組んでいる。書くことの指導は継続している。</li> <li>書くことは授業に位置付けてきたが、「何を」「どう書くか」の指導が十分ではない。</li> </ul>	<p>「みんなで考えを深めます」での話し合いを充実させるとともに、理解を自分の言葉でまとめる時間を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校研究の重点②「考えを深める学び合いの工夫」に取り組む。</li> <li>学校研究の重点③「書くことの指導」に取り組む。</li> </ul>	方法	「自分の言葉でまとめを書くことができる」で確認する。 (児童アンケート)	授業の板書写真を掲示・公開する。		
				指標	「当てはまる」の割合80%以上	月3枚以上		
				結果				
授業で行う取組 二学期				方法				
				指標				
				結果				
授業で行う取組 三学期				方法				
				指標				
				結果				
授業以外で行う取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間3回行っている家庭学習強化週間では、全体の目標達成が97%を超えている。しかし、強化週間以外の家庭学習の取組や課題提出には個人差や学級差が見られるのが現状である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人差は、家庭の協力度にも関係している。</li> <li>宿題の内容は学級担任に任せられる部分であること。</li> </ul>	<p>家庭学習の習慣化による基礎・基本の定着に取り組ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年で宿題の内容を検討する。</li> <li>学年で自学の取り組み方や内容について検討し、指導する。</li> </ul>	方法	家庭学習強化週間のチェックシートで確認する。	教員アンケートで取組状況を確認する。	1学期の検証	
				指標	5日間目標時間達成 90%以上	「家庭学習に取り組ませている」90%以上		
				結果	1学期の結果	1学期の結果	2学期の結果	